

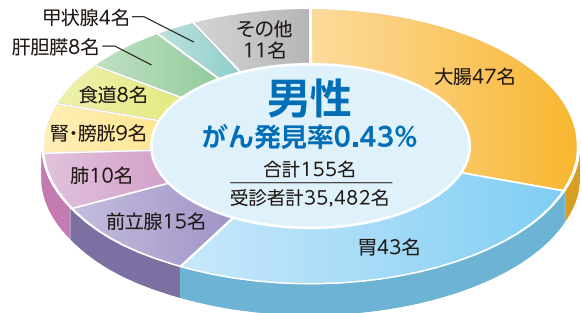
確かな安心のために

当会は、「確かな安心」をお届けすることを品質目標に掲げ、検査精度の向上を図っています。
当会の取り組みの成果をご紹介します

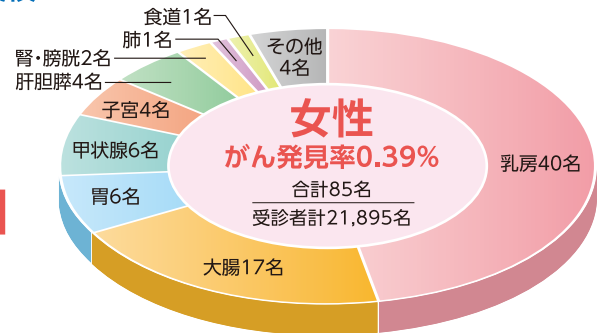
当会のがん発見率

精密検査後のフォローアップを行い、その結果を公表しています。

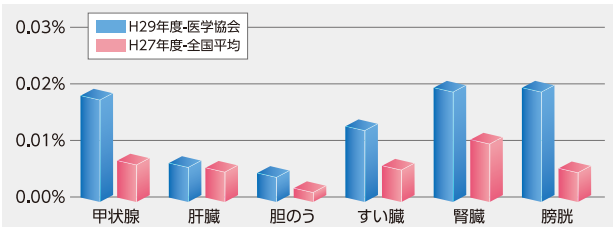
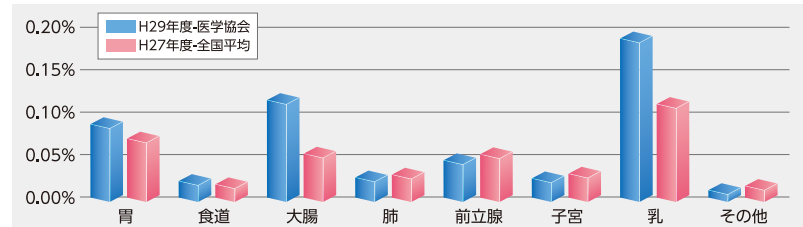
当会平成29年度実績



がん発見数
[240件]
がん発見率
[0.418%]
全国平均
[0.276%]



部位別のがん発見率(全国平均との比較)



当会:平成29年度 当会人間ドック実績(平成31年1月末時点) 全国平均:日本人間ドック学会「人間ドックの現況2015」

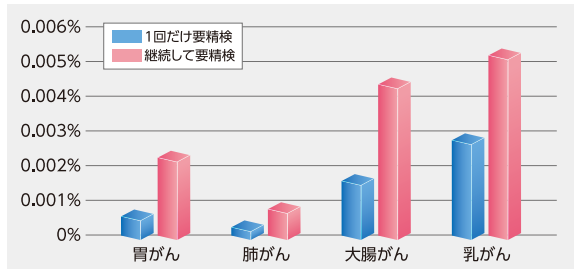
やりっぱなし健診をなくす取り組みについて

人間ドック・健診の「受診」は健康づくりのスタートです。当会では、結果を活かしていただくための取り組みを行っています。

①精密検査を受けることの重要性

連続して精密検査が必要と判定された方は、がん発見率が高いことが分かりました。

■がん発見率(平成27-29年)

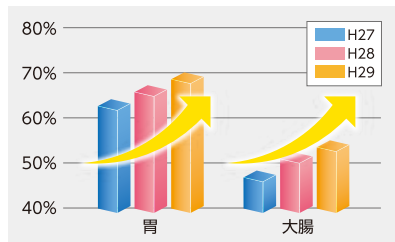


当会:H27-H29人間ドック実績データより

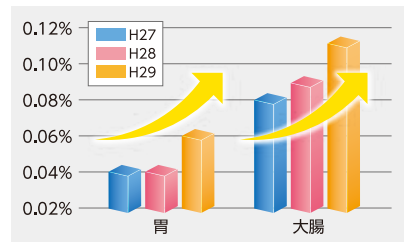
②当会の取り組みとその成果

- 当会では、企業の健康診断で行うがん検診後のフォローアップを実施しています。
- 受診の3か月後に、お一人おひとりに、文書をお送りして、受診勧奨を行っています。
- この取り組みにより、「精検受診率」や「がん発見率」が年々アップしています。

■精検受診率



■がん発見率



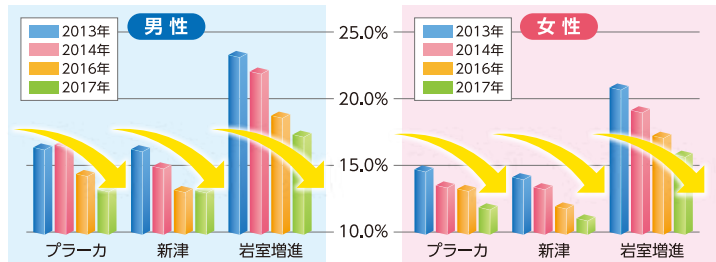
当会:H27-H29職域定期実績データより

地域の健康づくり

日本人間ドック学会学術大会(第59回)において、最優秀口頭発表賞を受賞しました! (全国460演題のエントリー)

当会人間ドックでは、「尿中の推定塩分摂取量」の検査を、2016年から無料でドック標準項目にしています。検査結果の説明や栄養指導を通して、食習慣等の行動変容につなげていただけました。さらに、減塩に対する意識づけにより、塩分摂取量の改善にもつながっています。

■年度別・施設別の食習慣の意識変化(漬物を1日2回以上とりますか?)



■年度別・男女別の推定塩分摂取量の平均値(年度推移)

